

宮城県感染症発生動向調査情報

— 2018.10.29～2018.11.4 — 第44週 —

平成30年11月8日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第41週	第42週	第43週	第44週
水痘	2 0.40	1 0.10		1 0.50		4 0.80	8 4.00	11 0.41	27 0.46	995		○	○	○
流行性耳下腺炎									0 0.00	195				
感染性胃腸炎	18 3.60	17 1.70	17 3.40	27 13.50	12 4.00	9 1.80	1 0.50	121 4.48	222 3.76	11,388	◎	◎	◎	◎
手足口病	9 1.80	1 0.10	6 1.20	2 1.00	7 2.33	1 0.20		19 0.70	45 0.76	2,071	◎	◎	◎	○
伝染性紅斑	4 0.80	26 2.60	5 1.00		2 0.67	1 0.20	7 3.50	128 4.74	173 2.93	1,580	◎	◎	◎	◎
突発性発しん		2 0.20	3 0.60	2 1.00	3 1.00	1 0.20	1 0.50	14 0.52	26 0.44	1,296	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	3 0.60	1 0.10	2 0.40			2 0.40	2 1.00	4 0.15	14 0.24	3,293	◎	○	レ	レ
インフルエンザ	3 0.38				4 0.80	5 0.63		1 0.02	13 0.14	34,105	○	レ		
咽頭結膜熱	5 1.00	1 0.10	1 0.20	2 1.00		6 1.20		1 0.04	16 0.27	939				
流行性角結膜炎		1 0.33				1 1.00			2 0.17	153				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25 5.00	27 2.70	1 0.20	2 1.00	5 1.67	27 5.40	2 1.00	66 2.44	155 2.63	6,727	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	3				
マイコプラズマ肺炎								1 0.20	1 0.08	148				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	11 2.20	1 0.10	2 0.40		1 0.33	1 0.20		15 0.56	31 0.53	2,212	○	レ	レ	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	31				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		6						8					
	川崎病	1												
	不明発しん症								19					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
 - 仙台管内 男性2名
 - 結核(無症状病原体保有者)
 - 気仙沼管内 女児1名*
 - 仙台管内 男性5名、女性3名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: ウイルス性肝炎(B型)
 - 仙台管内 男性1名
 - 侵袭性肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 女性2名
 - 水痘(入院例)
 - 仙台管内 女性1名
 - 梅毒
 - 仙台管内 男性1名
 - 百日咳
 - 仙台管内 男性2名
 - 風しん
 - 仙台管内 女性1名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [水痘]
 - 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
- [伝染性紅斑]
 - 塩釜管内で警報レベルを超えました。
 - 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
 - 仙台管内で警報レベルを継続中です。
- [咽頭結膜熱]
 - 栗原管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		中 間 報 告	
	第41週採取分 (10.8～10.14)	第42週採取分 (10.15～10.21)	第43週採取分 (10.22～10.28)	
RSウイルス	2件	0件	2件	
サイトメガロウイルス	0件	2件	0件	

4. 今週のコメント

【伝染性紅斑】

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とした、幼児や学童を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれることもあります。潜伏期間は10～20日で、頬に発疹が出現する7～10日ほど前に微熱や感冒様症状などの症状がみられることが多く、この時期にウイルスの排出量が最も多くなります。紅斑の時期にはほとんどウイルスの排出はありません。妊婦が感染すると、胎児の異常(胎児水腫)や流産を引き起こすことがあるため特に注意が必要です。特に仙台地域、塩釜地域、気仙沼地域を中心として流行が継続しており、今後も患者の増加が予想されますので、咳エチケットの徹底をお願いします。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

